



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年3月7日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、北九州市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

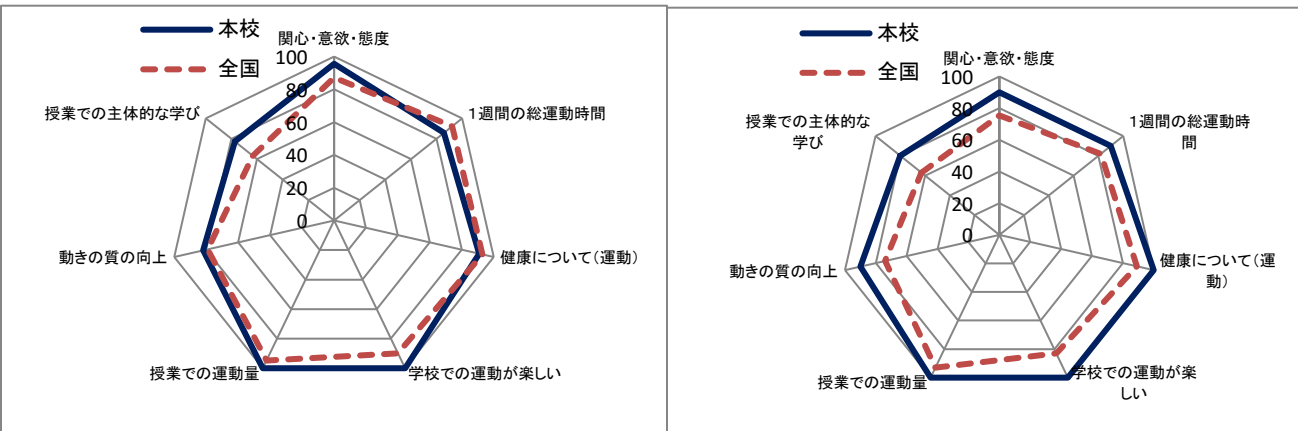
1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容・・・運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

① 質問紙調査レーダーチャート



② 質問紙調査の結果分析

授業の始めの準備運動の後に補強運動や3分間走を入れることで運動量を確保することが出来た。また、一クラスの人数が少なく場所も確保できることが「授業での運動量」の満足度につながったようだ。

一方で「主体的な学び」や「動きの質の向上」の値は全国平均を大きく上回っているものの低い値である。授業の中で自分自身で課題を見つけ、自分の動きを客観的に見たり仲間と教えあったりすることによって分析し「できた」や「上手くできた」体験を多くすることが必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

全学年で共通して準備体操後の補強運動、時間走を継続して行っていく。しかし、学年や自身の体力によって回数や時間を変更するなどして個の体力に合わせて活動するような工夫を行っていく必要がある。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体育大会でクラス対抗ではあるが、性別や学年をこえた統一種目を取り入れ活動を行う。

卒業前に感謝を込めて～3年生大掃除～

卒業式まで残りおよそ1週間になった3月4日。午後から3年間お世話になった校舎に感謝の気持ちを込め、3年生全員で教室や廊下、窓ガラスを中心に校舎の掃除を行いました。

これは、尾倉中をはじめ、全国の中学校の伝統的な行事で、毎年この時期に行っています(学校によっては、2月中に実施するようです。また、床が「木」の学校は、ワックスがけもあります)。3年生も卒業を控え、お世話になった母校に感謝し、後輩である在校生やこれから入学してくる新入生のために、一生懸命掃除を行いました。

日頃なかなか時間をかけてできない場所などを中心に、心を込めて掃除に取り組んでいました。おかげで教室や廊下がきれいになり、すがすがしい気持ちになりました。卒業生のみなさん、ありがとうございました。



『学校の掃除』には、清潔の習慣の育成、公共心の育成、健康の増進、勤労の体験などの教育的効果が認められます。つまり、掃除は人間形成にとってきわめて重要な意義をもつものであり、児童・生徒による学校での掃除は日本の教育の伝統的な特色をなしていると言えます。